

あなたと町政を結ぶ



議会だより



おまわりさん ありがとう!! 保育園児「交通教室」

(撮影:加藤武弘さん)

3
月
定
例
会

■ 6億5,443万円	P2・3
■ 質疑応答	P4~6
■ 鴨川市表敬訪問	P7
■ 討 論	P8
■ 一般質問	P9~13
■ 委員会レポート	P14~17
■ 町長の施政方針	P18
■ モニター通信・議会日誌	P19
■ 保育所めぐり (静川保育所)	P20

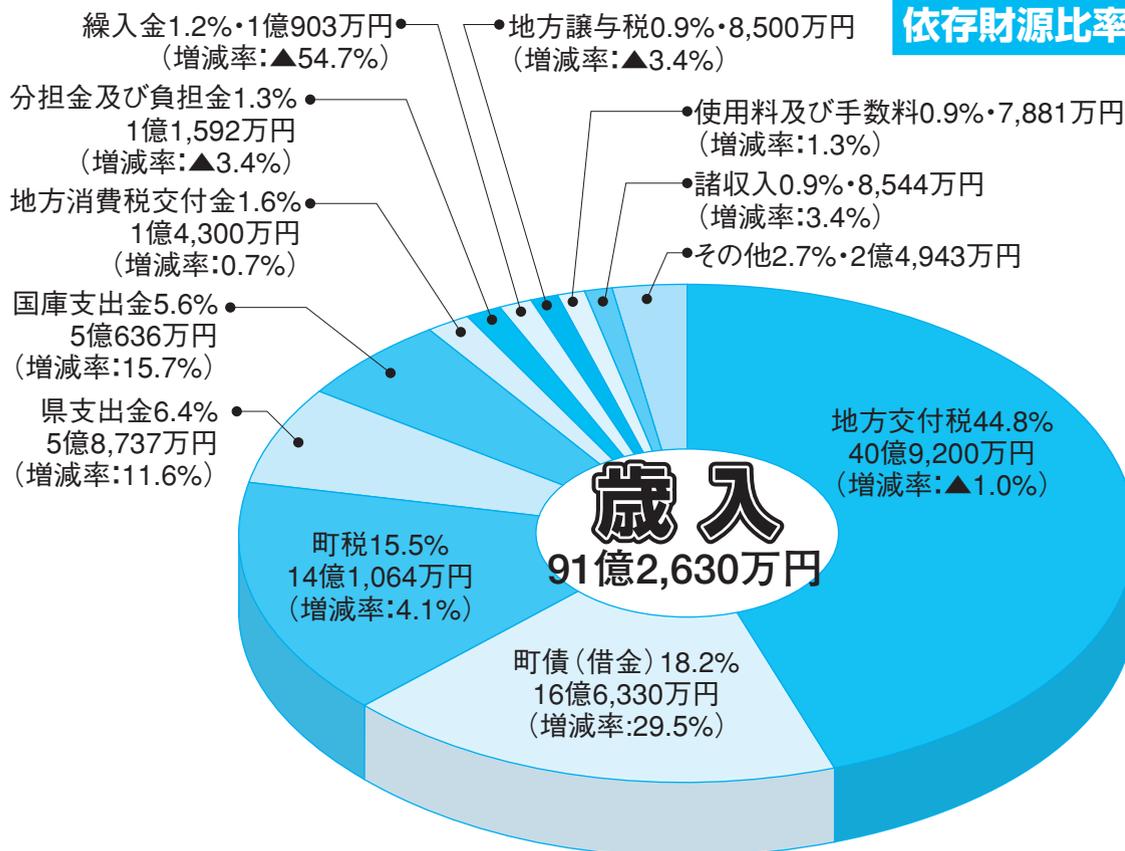
2014
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.38

6億5,443万円

H26年度当初予算
91億2,630万円
前年度比3.6%増

自主財源比率： 21.9%

依存財源比率： 78.1%



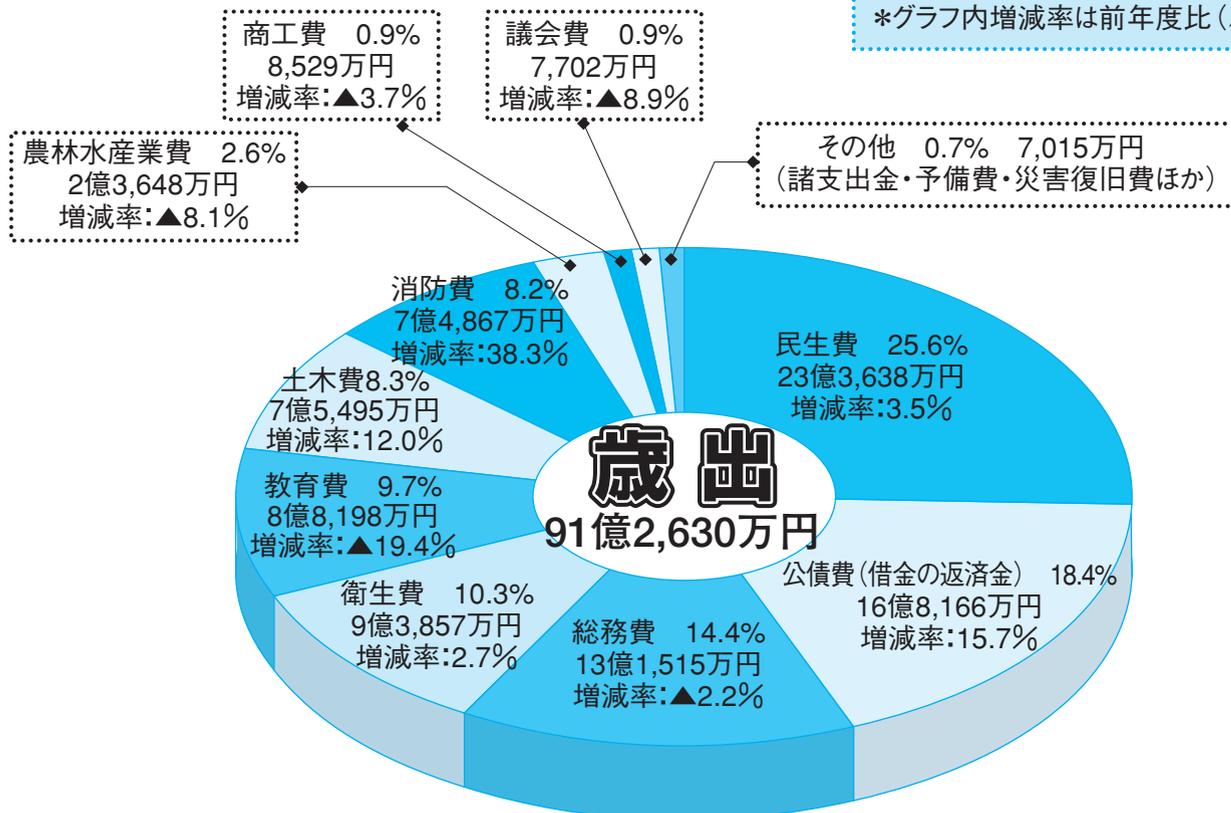
○自主財源科目

- ・町税
- ・分担金及び負担金
- ・使用料及び手数料
- ・繰入金
- ・諸収入
- ・その他

○依存財源科目

- ・地方交付税
- ・町債
- ・県支出金
- ・国庫支出金
- ・地方消費税交付金
- ・地方譲与税

*グラフ内増減率は前年度比(▲:減)



防災行政無線 デジタル化更新事業に

●平成26年度本町の予算

項 目		金 額(円)
自主財源	町税・使用料財産収入など	18億8,844万
	基金からの繰入金	1億 903万
依存財源	地方交付税など	43億7,180万
	国・県支出金	10億9,373万
	町 債	16億6,330万
歳 入 合 計		91億2,630万

●本町の予算を家計簿に例えると

項 目	金 額 (円)		比率 (%)
	年 間	1か月	
給 料	124万	10万	20.7
貯 金 の 取 り 崩 し	7万	0.6万	1.2
親 からの 援 助	359万	30万	59.9
借 金 (ローン)	109万	9万	18.2
収入合計	600万	49.6万	100.0

平成26年第1回身延町議会定例会は、3月4日から14日までの11日間の会期で開かれました。

今議会では、平成26年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、条例の一部改正、指定管理者の指定、一般会計及び特別会計補正予算が提案され全員賛成または賛成多数により可決されました。

一般質問は、7日に5人の議員が登壇し、「町民が暮らしたい身延の実現に向けて」・「安全・安心な学校づくり」、「小中学校統合問題」、「町内資源の活用を図るための産業間連携について」、「なかとみ現代工芸美術館の現状」など、活発な質問を展開し町当局を質しました。

●年間の収入について

給料など自分で稼いだお金（自主財源）は、全体の約22%程度。

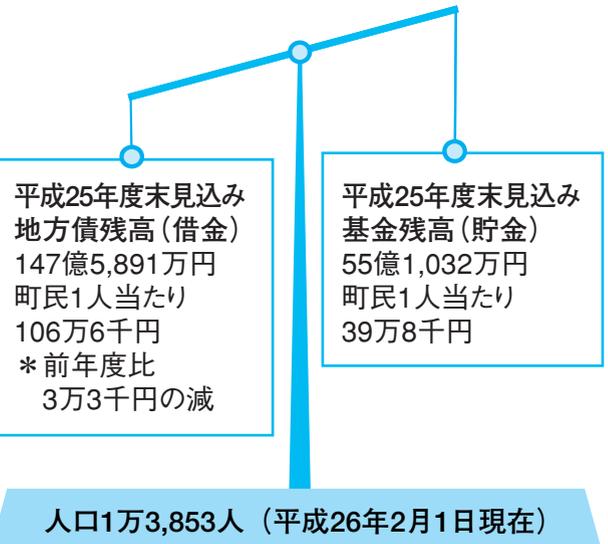
親に頼っているお金（依存財源）は、約78%と大きい。

今後は、子や孫が等しく受益する、また、将来世代に何を残していくか家族で話し合い、経費節減に努めながら貯金していかなければならない。

単位:円 (▲減)

会 計 区 分	平成26年度予算額	増減率 (%)
一 般 会 計	91億2,630万	3.6
特 別 会 計	国民健康保険	20億1,456万 ▲0.3
	後期高齢者医療	4億7,448万 0.2
	介護保険	22億8,841万 2.5
	介護サービス事業	614万 0.0
	簡易水道事業	9億1,725万 15.0
	農業集落排水事業等	2,675万 6.0
	下水道事業	4億4,533万 ▲0.8
	青少年自然の里	5,209万 5.5
	下部奥の湯温泉事業	514万 ▲13.0
	土地開発事業	1億 96万 ▲14.3
	その他12財産区特別会計	463万 ▲0.3

(千円以下切捨て) (前年度比)



本 年 度 の 主 な 事 業

*防災行政無線デジタル化更新事業に6億5,443万円を計上。

*デマンド交通及び赤字バス路線の維持費並びに町有バス運行費等に7,441万円計上。

*身延福祉センターへ太陽光発電設備設置経費、2,355万円計上。

*国の施策に基づき、「臨時福祉給付金事業」と「子育て世帯臨時特例給付金事業」の経費、6,012万円計上。

質疑応答

条例改正

○議案第2号

芦澤健拓議員

人事院勧告とか、人事委員会勧告に従わない場合には、何かペナルティがあるのか。

総務課長

一般財源の乏しい町村であれば、最終的には県の人事院の勧告に従わなければ、交付税等で調整される可能性があるのでは、そのとおり実施をしている。

渡辺文子議員

ボーナスが合計で0.05カ月減るといふことであるが、職員の影響額はどのくらいなのか、また、減給保償の経過措置が切れることによる対象者は何人か。

総務課長

影響額については、職員全体で330万円くらいの減額になる。減給保障の対象者は5人であり、金額の合計が9,900円程度、1人当たり1,900円程度

度の減額になる。

○議案第9号

川口福三議員

居住地、勤務地の緩和措置の条例改正だが、所得に対する緩和等は考えてないのか。

建設課長

所得に対する緩和は考えていない。

補正予算

芦澤健拓議員

旧豊岡小学校プール解体撤去工事については、有志が有効利用ということと減額になっているが、有効利用の内容説明を。

財政課長

旧豊岡小学校プールの解体撤去工事の減額について、富士川モロコを養殖して地域振興に寄与したいという活動が始まってきているということと、その方々が自分たちも取り組んでみたいという話があったため減額した。

川口福三議員

重機借上料が総額で5千万円以上計上されているが、今回の豪雪に対しての借上料もすべて補えるのかどうか。

建設課長

2月8日と14日、15日の大雪による町道の除雪作業の重機借上料3千万円である。

現在、予算の組み替え後も除雪が収束していないため、さらに費用は増大する可能性がある。

松浦隆議員

敬老祝金・長寿祝金、及び老人クラブの活動費補助金が減額になっているが、高齢化が進

福祉保健課長

敬老祝金は、88歳から99歳の対象者955人、

見込みが825人、実績で130人の減、長寿祝金は満100歳が2人減によるもの。老人クラブ補助金の減額は、会員数の減ほか実績の減額による。

松浦隆議員

民間保育所費の中で委託料、そして民間保育所事業費補助金、これは両方とも減額になっているが、その理由は、

子育て支援課長

町内民間保育所および広域入所委託保育所運営費の委託料が今年度実績見込みの精査により減る見込みのため減額した。

民間保育所一時預かり事業費補助金の減額については、補助事業を予定していた私立保育園が補助事業の要件を満たせなくなり、補助対象外となったために減額した。



旧豊岡小学校プール

さあ!議員でチェック

議案第28号 一般会計予算

芦澤健拓議員

町税が増えているが、その根拠は。

税務課長

法人税の伸びであるが、予想以上に個人の消費の改善等が見られ、サービス業と、それから土木工事業が伸びている。

芦澤健拓議員

福祉センターの屋根に太陽光のソーラーパネルを設置することであるが、出力はどのくらいか。

環境下水道課長

発電設備のパネルは10キロワット、それから蓄電池1台については12キロワットのものを整備する。

農業振興費

渡辺文子議員

鳥獣被害対策講習会を、集落別で継続するのが。

産業課長

今年に限っては、集落診断講習会は今のところ計画していない。要望があれば、今後検討する。

工事請負費

渡辺文子議員

防災行政無線デジタル化更新工事、身延山頂上の中継局工事は6月中



太陽光ソーラーパネル設置予定（身延福祉センター）

に完成予定と聞いているが、この度の大雪が工事に与えた影響と、告知機が壊れて放送が聞けない下部地区を最優先に8月頃から付けていくとしているが、どのように進めるのか。

総務課長

大雪のため遅れ気味であるが、25年度分の進捗率は、全体工事の34%程度になる見込みである。告知機が使えない下部地域を優先的に整備していく。戸別受信機の設置は8月頃から工事する予定である。

バスの運行対策費

福與三郎議員

身延町地域公共交通活性化協議会への負担金であるが、前年度より700万円ほど減額となっているがその理由は。

政策室長

昨年デマンドバスの導入について、5年経過しているということとで機器の更新を行った。

これが減額の主な理由である。

高齢者福祉費

福與三郎議員

介護基盤緊急整備特別対策事業補助金1億円、それから施設開設準備経費助成特別対策事業補助金1千5百万円について説明を求める。

福祉保健課長

身延山福祉会が特別養護老人ホームみのぶ荘と養護老人ホーム功德会の建て替えを26年度から28年度までの3年間で行う。現在80人定員の特別養護老人ホームを本体30人、サテライトA・B各25人定員の施設として建設する。初年度分の補助で基準単価1人当たり400万円の25人分、1億円が県から補助される。また、施設開設準備経費として1人当たり60万円、25人分1千5百万円も同じく県から補助され、合計1億1千5百万円を身延山福祉会へ補助するものである。

質疑応答

障害福祉費

松浦隆議員

レセプトコンピュータ改修負担金というのがあるが、この内容は。

福祉保健課長

重度心身障害者医療費助成制度の見直しで、窓口無料化から自動還付方式への移行が予定されている。

これに伴い県内の医療機関のレセプトコンピュータ改修費を、県と市町村で負担する。

教育費

松浦隆議員

金山博物館の備品購入費で「オリジナルきぐるみ」とあるが、その内容は。

生涯学習課長

入館者数の伸び悩みがあるため、ターゲットを女性あるいは子どもたちにも親しんでもらえるようなゆるキャラを作って集客体制を図りたい。

学校給食費

松浦隆議員

栄養士の献立作成ソフトウェアとあるが、これは他の給食センターには計上されていないが、どのような内容なのか。

学校教育課長

町内4施設、いずれもこのソフトがある。身延学校給食センター

民生費

川口福三議員

高齢者福祉費の報償費中、敬老祝金、長寿祝金等について、新年度の見込みは。

1では、17年度に購入したソフトを使っており、現在、成分表等が変わっているため26年度に新規購入するものである。

福祉保健課長

敬老祝金、満77歳の祝金は207人、88歳から99歳は1,040人、100歳以上は24人、満100歳の長寿祝金が12人、以上の人数を見込んでいます。

障害福祉委託料

川口福三議員

障害者相談支援事業、この事業の内容は。

福祉保健課長

障害者相談支援事業委託料は、峡南5町でこの相談事業等を六郷ふれあいセンター内の峡南圏域相談支援センターに委託している費用である。均等割、人口割、障害者負担割、実績割、これらをもとに相談支援事業ほか、虐待センターの業務も委託している。26年度の身延町負担分として、407万6千円計上している。

平成26年度 特別会計

議案第31号
介護保険特別会計

松浦隆議員

二次予防高齢者筋力トレーニング事業、一次予防高齢者筋力トレーニング向上事業委託料の「一次・二次」の意味は。

福祉保健課長

二次予防事業は65歳以上で、生活機能が低下し、近い将来に介護の恐れがある高齢者を対象に行う事業。
一次予防事業は65歳以上の元気な高齢者、自分、介護の必要がないだろうという元気な高齢者を対象に行う事業。



金山博物館 着ぐるみのキャラクター「もーん父ーさん」

姉妹都市 鴨川市表敬訪問

訪問日 平成26年2月4日～5日

鴨川市との交流は、旧身延町と千葉県の旧天津小湊町が、昭和46年3月に姉妹町協定を締結し、交流を続けてきたが、旧身延町が中富町、下部町との合併により「新身延町」となり、また、旧天津小湊町は、鴨川市と合併し、「新鴨川市」となった。

両市町が合併してからは、姉妹都市提携が途絶えていたが、平成20年2月に新市町に引き継ぎ、姉妹都市協定を締結した。

以来、町、議会、小中学校児童生徒、商工会等分野での交流が行われ、現在に至っている。

今回は、昨年、身延町議会議員の改選があり、議会議員の交流を目的とした改選後初の訪問である。

鴨川市の長谷川市長、野村議長をはじめ関係各位の温かい歓迎を受け、対面式では、親睦を深め、充実した交流であった。

また、両市町の信頼関係の構築や交流に貢献することが、議会としての役割であることを痛感した。

2日目は、近年の高度化、複雑化する医療現場で、能

力や役割の大きい看護師の育成をする「亀田医療大学」を視察した。

亀田メデイカルセンター等と保健、医療、福祉にわたる充実した臨床実習施設と一体となった教育環境、教育内容は、最高の「学びの場」として、人材育成に力を注いでいる。

また、鴨川市と連携し、市の活性化、経済の活性化等の目標を共有し、官民一体の取り組みに成功していることを感じた。

訪問を通して、歴史ある両市町が今後も目的を持ち、両市町がますます充実した交流を図り、発展することを願う訪問を終えた。



温かい歓迎のなかで記念撮影：鴨川市議会・身延町議会

日程『議員との懇談会』を決定

開催します。

……多くの皆様のご参加をお待ちしております。……

- 5月17日(土) 19時30分～21時
身延町総合文化会館
- 5月24日(土) 19時30分～21時
働く婦人の家(久那土出張所)
- 5月31日(土) 19時30分～21時
飯富ふれあいセンター



交流の始めは<<対面式>>

賛成

討論

反対

県人事委員会は公務員給与を精密に比較し、民間企業水準との均衡が保たれることを基本に国や他の都県の公務員給与水準との均衡、また物価および生計費の動向等も考慮に入れ勧告している。よって、人事委員会の勧告を尊重し賛成する。
野島俊博 議員

議案第2号
(賛成多数)
身延町職員給与条例及び身延町職員給与条例の一部を改正する条例の一部について

公務員の給与は民間中小企業の基準になつていて、引き下げることになれば地域経済に大きな影響を与えることとなる。食生活を守ることも地域経済を守ることも行政の仕事でもある。公務員給与を引き下げるこの議案に賛成することはできない。
渡辺文子 議員

公民館建設はすでに議決されており、また、教育委員会において地元説明会、意見交換会を経ての一部改正であるので賛成する。
生涯学習および地域活性化の拠点として活用していただきたい。
野島俊博 議員

議案第4号
(賛成多数)
身延町公民館条例の一部を改正する条例について

下山分館の建設についてはお年寄りの皆さんが行きやすい場所にできたら、もっと多くの人に喜ばれたと思う。
この条例は下山分館の場所を移し、地番変更する条例であるので反対する。
渡辺文子 議員

社会保障の安定財源の確保等を図ることを目的にした国の税法の法律改正に伴う町の条例改正であり、国においての目的達成を願って賛成する。
広島法明 議員

議案第5号
(賛成多数)
社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例に関する条例について

消費税は低所得者ほど負担が重く、経済的弱者を踏みつけにする不公平税制である。
消費税大増税によって国民の暮らしも経済も財政も破綻するもので賛成できない。
渡辺文子 議員

窓口無料制度導入により、国からの国庫補助金等の減額(ペナルティ)は財政基盤の弱い自治体にとつては限界に近い。窓口無料化廃止はこうした事情を勘案すればやむを得ないと考える。
「障害者の立場に立ち、きめ細やかな運用を図る」ということにより賛成する。
野島俊博 議員

議案第6号
(賛成多数)
身延町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について

重度の障害を抱える子どもに、より負担を課すこの制度の改正はとても許されるものではない。
お金の心配をせずに医療が受けられる窓口無料化制度を続けるべきだと考え、この条例には賛成できない。
渡辺文子 議員

連合会において、後期高齢者医療制度を堅持する上においては、値上げせざるを得ないという状況であり、町独自で値上げに反対することにより賛成する。
川口福三 議員

議案第30号
(賛成多数)
身延町後期高齢者医療特別会計

一昨年に続き今年も引き上げられるものである。75歳以上の多くが年金収入であり、その年金も減らされる中での負担増に賛成できない。
後期高齢者医療制度そのものに反対する。
渡辺文子 議員

その他の討論

- *議案第28号 身延町一般会計予算内、保健体育費 賛成多数
- *議案第28号 身延町一般会計予算内、総務費 賛成多数
- *議案第28号 身延町一般会計予算内、教育費 賛成多数
- *議案第31号 身延町介護保険特別会計予算内 賛成多数

補助金について
町長給与見直し
教育長給与見直し
要支援について

ここが聞きたい!

一般質問



野島 俊博 議員

総合計画将来像

問 総合計画の将来像は

答 平成29年度から第2次総合計画を策定

【要旨】 合併特例による交付税は27年度から5年間の段階を経て、一本算定に移行される。

このことにより大幅な減額が余儀なくされるとともに、人口減少によって町税の減収も懸念されるが次の点はどうか。

問 27年度以降、総合計画・新町建設計画各種事業にどのような影響が生ずるか。
政策室長 合併特例債の発行期間が31年度まで延長となり、新町建設計画の計画期間を延長するとい

う変更が生じる。変更内容は、主要指標見直し、人口および世帯の見直し、財政計画が考えられる。

第1次総合計画は、各年度の財政状況、事業の進捗状況や実施成果に対し年度ごとに見直しと調整を加え、29年度から第2次総合計画を策定することになるが、地方交付税の合併算定替えを見据え、27年度には検討に着手しまちづくりの総合的な指針として策定を行うといふ。

問 各種団体に対する補助金を検証し適切な交付額

を検証する必要はないか。

政策室長 補助金の見直しは、24年度で評価した対象補助金は46項目で実施。評価内容については廃止1項目、廃止を検討する1項目、減額する5項目、減額を検討する27項目、現状維持が12項目という結果であった。25年度にはこの評価結果に基づき、各課の検討状況を把握し、補助金の効果、必要性を検証する中で補助金の交付の適正化を図っていく。

問 25年度末までの合併特例債の進捗状況は。

財政課長 下山小学校建設のほか、地域住民の連携強化と地域振興に資する事業に充当し、25年度末で29億4,010万円となる見込みである。

起債限度額に対し約29%である。
問 25年度末の起債および基金の残高は計画どおりか。また、どのように分析し評価しているのか。あわせて27年度末の見通しはどうか。

財政課長 新町建設計画の財政計画と比較し、起債残高は減少し、基金残高は増加しており計画以上の成果をあげている。

【新町建設計画とは】

平成16年3月に策定したもので、合併後の新町を建設していくための基本方針を明らかにするとともに、合併後の新町の総合計画の基本となるものである。

【合併特例債について】

東日本大震災による「被害を受けた合併市町村」に関わる地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、被災地以外の合併市町村においても、震災の影響により合併年度およびこれに続く10力年が15力年の間（平成16年度から31年度）発行できるようになった。

【その他の質問】

第3次行政改革大綱の行政改革実行プランに基づき評価

【要旨】 「安全・安心な学校づくりのため」、今後発生が予想される東海沖地震及び東京直下型大地震などに対応できるマニュアルを緊急に整備する必要性がある。

問 平常時の準備は。
問 災害発生時の対応は。
問 災害発生後の対応は。



芦澤 健拓 議員

学校統合問題

問 町長は、説明会に何回出たか

答 最初の説明会に出たと記憶している

(教育長)

問 静川・西島小、豊岡・身延小、下山・身延中の

統合決議の際、5項目の付帯決議(左表参照)がなされた。現在、町教委

は小中学校保護者に同意書の提出を求めていると聞いているが、このような新たな方針は議会に報告するよう求められているが、この方

教育長 現在、小中学校の保護者会に同意書の提出を求めているが、この方

針については、昨年1月、統合後期計画を発表する前に、議会に説明したと

考えている。

問 第4項で、町長の説明

会への出席を求めているが、説明会に、町長は何

回出席しているか。

教育長 私の記憶では最初の説明会には出席しているが、その後、出席はされなかった。

問 下部地区の保護者会の

意向をどのように把握し

ているか。

教育長 下部も久那土も保育園の保護者会と一体になつて話し合いを行つて

いる経過は承知しているが、同意・不同意の意志を書面で提出しているところ(事実はない)。

問 「1中3小」には、下

部・中富地区では不安・不満が大変多いと感じているが、町長はどのように考えているか。

町長 学校問題は、町教委

(平成23年3月議会における決議の付帯決議)

- 身延町立小中学校の適正規模・適正配置について
- 1. 全体計画を早急に策定して、町内全地域の住民に説明し、意見を求めるべきである。
- 2. 説明会は、町内各層・各種団体等呼びかけ、十分な議論をもつこと。
- 3. 統廃合対象校を特定した段階で改めて保護者会(PTA)をはじめ、各層・各種団体等に説明会を十分に行う。
- 4. 統廃合に伴い廃校となる学校施設の利活用について権限を有する町長は、前項の説明会に出席し、町民に十分な説明を行うこと。
- 5. 教育委員会は、統廃合問題につき何らかの方針協議を行った場合は、直近の議員全員協議会へ報告をする。

の問題であるが、久那土

地区の署名提出の際、「1中3小」には、基本的には賛成であると言っていたので、私は町民間に軋轢はないと考えている。

豪雪被害とその対策は

問 ①気象観測開始以来初といわれた豪雪時の被害状況のまとめは、いつ頃になるか。

②高齢者・病人・けが人への対応は。

③除雪作業の相互乗り入れは。

総務課長 ①災害救助法による救助適用、罹災証明書の発行事務等があり、まとめは3月中旬以降になる。

福祉保健課長 ②在宅寝たきり高齢者、障害者等の安否確認を真っ先に行つ

た。個別訪問は困難で、

電話や親戚・地域の皆さん等のご協力で安否確認ができた。透析患者・在宅酸素利用者・災害時要支援台帳登録者の状況を把握し、病院・薬局等の

関連機関と連携し、優先的に除雪の手配や直接自宅へ薬や食料を届けるなどの対応をした。

建設課長 ③今までは降雪

がやんでから行っていたが、今回は、降雪中から除雪作業に入り、建設業者への委託の有無にかかわらず、業者と連絡を取り合い、除雪を行った。重機を所有している個人にもボランティアで除雪をしてもらった。

その他の質問

診療報酬改定に伴う病床削減について質問した。



渡辺 文子 議員

学校統合問題

同意・不同意の決断の延期を

答 計画どおり進めたい

問 保護者は教育委員会から身延高校の中高一貫教育に対する説明がない中で同意・不同意の決断を迫られている。

教育委員長 同意・不同意を迫るのではなくお願いしている。保護者の不安や疑問は承知しているが、中高一貫教育は町の教育委員会として説明する立場がない。

問 子供の一生の問題で不安や疑問があり決断できないと聞いている。あくまで計画なので、中高一貫教育がどうなるのか判断が出来るまで延ばすべきではないか。

教育長 委員会としては不測の事態が出ない限り計画どおり進めたい。

問 今回のような大雪は、想定されなかったと思うが、これからも想定的事

が起らないとは言えない。一中にした場合、学校が遠くなれば親も迎えに行けず、何日も学校に泊まることも考えられるが。

学校教育課長 大災害が起こる可能性は高い。地震、台風などに備えて準備していく。町の防災計画とは違う避難場所を学校独自に確保したい。

お金の心配をしなくて学校生活を

問 教育費にかかる親の負担を少なくする就学援助制度を工夫し、有効に使うべきと思うが。

教育長 現状制度を確実に、落ち度のないよう運用していきたい。

将来に希望もてる町をどうつくっていくのか

問 町としての機能が少しずつ失われていて、町民の中に閉塞感もある。車を持たない高齢者等、人

が住み続けるために、町としての機能を維持する事は町の責任であるが、どのように考えているのか。

政策室長 特に、ひとり暮らしの方々の意見を反映できるような方策を探りたい。



2月の記録的な大雪（切石地内）

問 地域の特色を生かし、住民の皆さんや身延町に魅力を感じて移り住んで来てくれた方々の知恵も借りながら、進めることが必要だと思うが。

政策室長 住民の声を反映させていきたい。

安心して介護が受けられるために

問 介護保険の改悪で要支援一、二の訪問や、通所サービスが介護保険から外される。町としてどう対処するのが。

福祉保健課長 介護予防給付のうち訪問介護、通所介護については、地域の実情に応じて柔軟な取り組みにより効果的、効率的にサービスが提供できるように検討していく。



柿島 良行 議員

町内産業間連携

問 高齢者世帯の見守り対策は

答 宅配業者等と見守り協定を結ぶ計画をしている

問 町内の産業間連携について具体的に関わっている支援施策は。

産業課長 身延町観光振興協議会への支援や、異業種が連携を行うなかで設立した身延町枝豆生産組合に対し、農機具購入などの支援をしている。

問 産業間、異業種間の連携について、町が調整役として関わり、横断的意見交換の場を作るなど地域協働によるまちづくりの推進が求められているが、**産業課長** 地域の優位性や特性を生かした幅広い産業間連携、異業種交流を強化し、経営資源を相互補完しながら新事業や新産業を創出するため、産業間や団体間の情報交換の場をつくる事は大事なことで、町の産業活性化のためこれからの情報交

換を支援していく。

問 大城溪谷湯平温泉は大変効能の高いアルカリ温泉であるが、現状では活用されず宝の持ち腐れとなっている。この温泉の今後の利活用について町の方針は。

政策室長 湯平温泉スタンドの利用許可を得ており、町民の皆さまに自由に利用していただいている。今後広報等で町民の皆さまに温泉スタンドとして積極的な利用を促すとともに、意見をいただく機会を検討し、利活用を図る。

問 急速に高くなっている高齢化のなかで、高齢者世帯の見守り活動の具体的な対策は。

福祉保健課長 高齢者や要介護者の見守り支援については地域の皆さまが互

助、共助で関わって頂くことが重要である。町では宅配事業等を営んでい

る事業所などに呼びかけ、異変の発見・通報などを行っていたりたくため

の協定を結ぶ計画をしている。

問 宅配業者等が訪問し異変を発見・通報などした場合、町として感謝の意を表する考えは。

福祉保健課長 異変の発見通報や救助に関わる行為は感謝の意を表するに値する行動であるが、その状況により、非常にデリケートで難しい問題も含むと思われるので感謝の意の表し方としては個別に対応していきたい。



湯平温泉湧出口



赤池 朗 議員

なかとみ
現代工芸美術館

問 なかとみ現代工芸美術館について

答 町民文化の香り高い町を目指す

問 名称を「現代工芸美術館」とした理由は。

生涯学習課長 1つ目、全国の美術館に現代工芸美術館という名称の美術館がない。

2つ目、和紙は旧中富町の地場産業であり、工芸との関わりを持つことができる。

3つ目は親近感を持って、暮らしの中の美に直接つながりやすいこと。

4つ目は、美術館の運営、企画展開催の面で有利であることである。

以上により、現代工芸として運営がなされているところである。

問 近年の入館者数とかけた費用は。

生涯学習課長 17年から24年度までの有料展覧会は43回開催し、1回の平均入館者数は1,043人

である。町民が展示する総合文化祭や蔡倫書道展、春の芸術祭などは21回開催し、1回の平均入館者数は629人である。

人件費・施設管理費等を含めて美術館運営費決算総額の平均は、2,864万3千円である。

問 町民に企画展開催の内容、かかった費用、入館者数などの情報を提供しているか。

生涯学習課長 展覧会ごとの費用や入場者数の詳細については情報は提供していない。

問 印刷製本費が年間60万円から300万円ほどかかっているが、それをごのよう形で活用しているのか。

生涯学習課長 ポスター・チラシの印刷が主で、県内外の美術館、それから

学校、観光施設、メディア等にPRのため発送。

問 町民がこの美術館に対しての意向調査は行っているか、結果を把握しているか。

生涯学習課長 全町民に対して意向調査は行っていない。

問 専門委員会の構成と選考方法と、その中で出た意見の内容は。

生涯学習課長 現代工芸美術家協会の常務理事の方々に名誉職的な意味合いで委嘱したが、委員会が行っていない。

問 和紙の里管理運営委員会においては、PR方法、それから展覧会の方法等幅広い意見をいただいているのか。

問 美術館鑑賞ツアーの状況は。
生涯学習課長 21年度は41

人、22年度は38人、23年度は29人の参加があった。

問 町民の希望を募り、さらに回数を増やすことを考えているか。

生涯学習課長 総合的に考えて現状の回数で行っていきたく考えている。

問 運営方法など改善見直しを行い、町民満足の考えを聞く。

教育長 創意工夫を図り、町民文化の香り高い町を目指し、施策に取り組んでいく。



なかとみ現代工芸美術館

問 防災行政無線デジタル化 今後の予定は

答 27年1月をメドに全て完了

○条例改正

・身延町分収造林条例の一部改正

・身延町営住宅条例及び町有住宅管理条例の一部改正

問 契約箇所はどこか。
答 上八木沢字トツタテ1筆、八日市場字峠2筆など合計18筆である。

問 条例改正は上からの指示か、町独自の改正なのか。
答 町独自の改正である。



町有住宅 相又団地

この改正で、町外の方も希望すれば入居できることになる。

問 町有住宅の入居率は。
答 3月1日現在60戸中58戸が入居している。

▽25年度一般会計補正予算
問 旧豊岡小学校プールの解体費を減額したが今後の管理は。
答 プールを使用したいとの要望もあるので、町で管理し、今後具体的要望があれば活用を検討する。

問 シンボル選定委員報償の減額理由は。
答 合併当初、新身延町の町章、町民憲章、シンボルの3つを決めたいと思っただが、シンボルについては時期尚早であるとのことで25年度に予算計上したが、委員委嘱が遅れたため今回減額した。

問 シンボルは本年8月頃に決めていきたい。
問 中部横断道には、町内に3箇所のインターチェンジが出来るが、どのような町づくりを考えているか。
答 現在、職員10人程でプロジェクトチームを編成し検討している。今後は町民の皆様にも関わって頂くよう考えている。

問 選挙の種類によって自書式投票用紙分類機設定作業委託料の減額金額が違ふのは何故か。
答 各選挙に応じた候補名の件数等により契約金額が異なるためである。
問 特定鳥獣管理事業費補助金は、鳥獣の種類によって金額が違ふのか。
答 サル、シカ、イノシシについて支払われるもので、すべて1頭1万5千円と同額である。

問 県営中山間地総合整備事業の進捗状況が好ましくないが原因は。
答 用地交渉が難航しているためである。今後、県に対して事業の早期完成を要望する。
▽26年度一般会計予算
問 商工費県補助金3件の内容は。
答 観光誘客促進事業、地域商業活性化支援員育成事業、地域健康増進支援員育成事業の3件で、継続した雇用創出を目的としている。
問 観光誘客促進事業の事業効果は。
答 本栖湖畔に仮設の観光案内所を設置し、本町の観光地を案内するもので、これにより下部温泉や身

委員会

延山への観光客の流入を期待する。

財政課関係

問 江尻窪残土処理場の貸付料は何処から入ってくるのか。

答 国土交通省より、24年度から10年間支払われる。

政策室関係

問 25年度に田舎暮らし体験施設を見学に訪れたのは何人か。

答 2回見学会を開催し、15組26人が訪れている。年齢的には比較的高い層なので、ニーズをしっかり把握し事業を進める。

問 庁用バスの運行実績は。

答 あじろ(1号)とふるま(2号)の2台で、県外40回、県内210回である。

税務課関係

問 固定資産税増加の理由の中で、原野から宅地への評価額変更があったが、場所はどこか。

答 梅平の「コンビニエンスストア」である。

問 たばこが値上がりしたことにより、町に入る税収が増えたのか。

答 値上げによる影響はわずかで、消費量の増加による増収を見込んでいる。

問 軽自動車税の増額見込について、税率が上がる事による登録台数の減少は考えられないか。

答 昨年度並みの買い替え需要は見込めると判断している。

総務課関係

問 防災行政無線デジタル化更新工事の今後の予定は。

答 25年度計画している工事は、9割以上である。戸別受信機の設置は8月頃から順次施工していく予定であり、26年度中の完成を予定している。

土地対策課関係

問 法定外公共物とはどのようなものか、使用料は一律化か。

答 町所有の赤道・水路のことで、使用料は、種類・用途によって様々である。

問 地籍調査はいつまでの予定か。

答 山地を除き、最終は平成44年度の計画である。

身延支所関係

問 門野の湯の使用料について今後どのように考えるか。

答 燃料費等維持費が高騰しているため、今後改定したことを考えている。

建設課関係

問 我が家の耐震診断の予算が前年比減額となっておりが。

答 診断を希望する方が減少していることから、昨



現地調査：景観づくりが進められている身延門内地区

年の実績に基づいて予算計上している。

環境下水道課関係

問 補助金を交付した合併浄化槽設置後の管理状況の把握は。

答 山梨県浄化槽協会の法定検査結果報告で把握している。

問 合併浄化槽設置補助について、今後も促進していくのか。

答 身延町生活排水処理計画(基)を促進していく。

26年度下部奥の湯温泉事業特別会計予算

問 奥の湯温泉事業基金の現在高は。

答 25年度末で1千8百万円となっている。

(現地調査)

○中山間地域総合整備事業
雪害場所(日向南沢地内)

○農業用施設雪害場所(手打沢地内)

○景観づくり事業場所(身延門内地区)

問 臨時福祉給付金の対象者は

答 住民税均等割非課税者が対象

○条例改正

・重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

問 窓口無料方式に対し国からペナルティーを課せられているが、県に対して、窓口無料方式の継続要望はしたのか。

答 ペナルティー廃止の要望は再三しているが、国が応ずる見通しはない。県への要望は町だけでなく、議会においても窓口無料化を求める請願という形で要望したが変わらない。

○ペナルティーとは

窓口無料化を行う市町村に対し、本来であれば国が負担すべき国民健康保険の国庫負担金を減額する措置。

○ペナルティーを課す理由

窓口無料化により医療費が増加した分を国が負担することは、窓口無料化を実施していない市町村との公平性を欠くためとしている。

問 医療費自己負担分の助成手続きの煩雑化を解消するための工夫は。

答 受給者には一旦、自己負担金を医療機関の窓口で支払っていただくが、医療機関からの請求情報が国保連合会を通じて該当市町村に伝わり、その情報を基に市町村は受給者の口座へ自動的に自己負担分を還付する方式となるので、都度、役場へ足を運ぶことはない。

問 最初に、振込先の口座情報届け出が必要となるが、制度の見直し時期が本年11月1日からであるので、10月に行っている受給者証の更新手続きに合わせて行うことが可能である。

学校教育課関係

問 教育施設整備基金が3億5千万円ほどある。この基金に積み増す計画あるのか。

答 今のところ積み増す計画はない。

問 学校の改修、改造等に伴う国庫補助率は。

答 公立小中学校統合校舎等の新増築事業は、国庫補助率2分の1、過疎地は10分の5・5、大規模改造事業（20年経過建築物が対象）国庫補助率3分の1、学校教育施設等整備事業債を借り入れると、充当率90%で交付税措置は70%である。

問 生涯学習課関係

問 金山博物館の入館者減少の見込みは。

答 2月の大雪等により約350人がキャンセル及び、夏の猛暑の影響もあり、1月末現在の入館者数は約1万4千人である。

歳出

学校教育課関係

問 臨時職員8人が町単教諭であるが、町単教諭に



金山博物館では多彩な事業で集客を!! (昨年のこども金山探検隊)

委員会

要する総額及び賃金、期末勤手当等は。

答 賃金総額は2,125万円、賃金は月額17万2千円、期末勤手当は職員と同じ割合で支給する。

問 複式学級を解消するため、単級教諭の採用状況は。

答 24年度は4人、25年度6人、26年度は8人を採用する。

福祉保健課関係

問 臨時福祉給付金の申請時期と、認定要件は。

答 臨時福祉給付金は、消費税率引き上げに伴い、低所得者への影響を緩和するため、臨時的な措置

としての給付金（原則1人1万円）を支給する。

答 対象者は平成26年度住民税均等割非課税者、申請の受付は26年6月頃を予定している。

▽26年度国民健康保険 特別会計予算

問 人間ドッグの対象者が65歳までとなつているが、対象年齢を70歳まで拡大する考えは。

答 昨年度と比べ対象年齢及び人数を増加した。今後は、これらを検証して検討する。

問 国民健康保険の資格者証と短期証の対象人数は何人が。

○実施主体 市町村

○支給額 支給対象者1人につき1万円。

○臨時福祉給付金について
【目的】 消費税率の引き上げに際し、低所得者に与える負担の影響を鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な措置として、総額3,000億円の給付措置を行うもの。

・賛成多数で可決

答 3月1日現在で、資格者証73人、短期証44人。

問 資格者証と短期証の内容は。

答 資格者証は、一年以上国保税を滞納している者に対し、国民健康保険の被保険者であることの証明で、病院での窓口払いは10割。短期証は、軽度の滞納者に対し、被保険者期間を3箇月の短期に設定した証。

▽26年度介護保険 特別会計予算

問 介護保険料の収入が前年度と比較して増額しているが。

答 特別徴収、普通徴収の人口移動と収納見込率で算定、昨年より46万円増額。

問 滞納繰越の状況は。

答 24年度末で838万4,360円、26年2月25日現在746万3,330円の滞納額、督促状の発送や訪問徴収等徴収事務を強化していく。

▽26年度介護サービス事業 特別会計予算

問 支援サービス計画費収

入が減額されている。介護予防に力を入れるべきでは。

答 25年度実績見込みを基に計上、要支援認定者でも予防サービスを利用しない方が多い状況。

▽26年度後期高齢者医療 特別会計予算

問 被保険者数の状況は。

答 24年4月1日3,662人、25年4月1日3,606人で56人減少。

(現地調査)

- 原小学校
- 下部小学校
- 下山小学校
- 身延地区公民館下山分館



現地調査：身延地区公民館下山分館



望月町長の施政方針

「地方債残高の抑制は不可欠」

地方債残高減少

地方債残高は、25年度末の見込みで、特別会計も含め147億5,891万円で、24年度末比で9億3,933万円の減である。今後も、本町の財政運営において、地方債残高の抑制は不可欠であるので、発行に際しては、対象事業の選択等に十分配慮する。

大雪除雪費追加

一般会計では、2月8日、14～15日の記録的な大雪の除雪等にかかる重機借り上げ料等を追加。

26年度予算

一般会計予算は、総額91億2,630万円で、対前年比で約3.6%の増とした。主な要因として、25年度と26年度の継続事業で行われる防災行政無線デジタル化

更新事業、及び21年度に借入しました臨時財政対策債と併せて公債費の増である。

合併特例事業債の借換えに

国の施策に基づく事業

「臨時福祉給付金事業」と「子育て世帯臨時特例給付金事業」の経費5,986万円を計上した。

山梨県公共施設再生可能エネルギー導入推進基金事業

身延福祉センターへ太陽光発電設備を設置する経費2,355万円を計上した。

インフラ整備

次に地域基盤整備事業として、町道整備等を継続的に実施し、農林業の基盤整備、有害鳥獣対策を引き続き推進するとともに、橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁の耐震化及び修繕事業や道路ストック修繕事業等、老朽化したインフラ整備を重点的に実施していく。

教育委員長の教育方針



望月忠男 教育委員長

○学校教育について

小中学校後期計画、平成31年度には最終的な学校統合を計画執行したい。

○複式学級の解消

久那土小、下山小、原小、下部小に複式学級が生ずる見込みであるが、解消に努める。

○特別支援員の配置

「困り感」のある児童生徒の学習を支援するために全校に支援員を配置する。

○安全確保及び

いじめの問題

児童生徒の身体・生命に危害が及ぶ交通事故、犯罪が多発している。町は「地域基本方針」を、また学校は「学校いじめ基本方針」を策定する予定である。

いじめを事前に防止することはもちろんであるが、関係各機関の連携を密なものとし適切な対応を図って行く。

○中高一貫教育

「身延・南部地域中高

連携推進検討委員会設置要綱に基づき、どのような連携が可能か手探りが始まったばかりである。

○生涯学習関係

生涯学習は、人々が自己の充実や生活の向上のために、自発的意思に基づいて行うことを基本とし、生涯を通じて行う学習である。

生涯学習を進めるための4点を重点施策として推進していく。

①学習活動の支援

町民による自主企画的な講座を開設し、学習意欲の喚起に繋げて行く。

②生涯スポーツ・レクリエーションの推進

スポーツを合言葉にスポーツレクリエーションをより一層楽しむことができるよう総合的な検討する。

③芸術文化の推進と文化財の保護

総合文化祭など、成果を発表する機会の提供と団体活動の支援。

④青少年健全育成の推進

地域の子どもは地域で「守り育てる」を念頭に、家庭や地域の教育力向上を目指す。



何日も続いた除雪作業（切石地内）

◆表紙について

- ・飛躍の年であり、それぞれの気持ちを中心に刻み、一年の新しい門出に満ちた写真である。

- ・個人的には、下から上を見上げたアングルのほうがよいと思う。

◆追跡 あの一般質問 どうなった

- ・橋梁一つに思いは千差万別。議員諸賢には、地域エゴや思い付きで名をなすよりも熟慮された将来展望で町民を誘導されたい。

- ・下部川に対しての質問を検証していないのは残念。

◆町長行政報告

- ・長いこと不便を感じている下部地区の防災放送音声告知機の復旧を早急に。

◆12月議会で決まったこと

と。討論・請願

- ・議会広報は読んでいて、分かりにくいことが多い。

- ・反対意見者の主張には矛盾がある。公務員の所得が一般より高水準にあることは現実である。地方に行くほど「格差」がある。



議会広報モニターのみ
なさまから議会だより
No.37についての、感想等
をいただいたものです。

- い。町長の具体的なビジョンは示されていない。教育長の答弁は非常に無責任。想定外のは起こりうる。

- ・学校の存続を考えるなら、議員諸氏には、統合に反対する前に子どものいる家族の定住者を増やす施策を考えてもらいたい。

たい。

◆保育園めぐり

- ・先代理事長さんの教育理念が素晴らしい。少子高齢化、過疎化が進むわが町の柱となるような人材育成に今後も努めてほしい。

◆町政全般の意見・要望

- ・記録的な大雪となり危機管理の甘さを痛感した。天変地異に備え、行政を待つのではなく、できることは自ら行う、自らを守る、地域を守る学習会等に積極的に参加したい。

◆質疑・議員でチェック

- ・議員でチェックの綱目は、「議会で決まったこと」の後にくるとわかりやすい。

◆一般質問

- ・早急に道路の整備が望まれる。道路と学校があれば若者は故郷を離れない。

◆臨時会・組合議会

- ・臨時会、三つの構成で入れ替わりが大きい。組合議会の流れであり、理解するのが難しい。

◆広報編集委員研修会・議会日誌・モニター通信

- ・議会日誌よりも各議員の活動状況を具体的に知り

2月臨時会

2月18日開催

◆工事請負契約

- ・丸滝宮の前宅地分譲造成工事請負契約変更

組合議会

◆飯富病院組合議会

- ・2月7日臨時会
- ・諸収入条例改正の件
- ・3月28日定例会
- ・条例改正、25年度補正予算、26年度予算の件

◆峡南衛生組合議会

- ・3月24日定例会
- ・25年度補正予算、26年度予算の件

◆峡南広域行政組合議会

- ・3月26日定例会
- ・条例制定、25年度補正予算、26年度予算等の件

◆後期高齢者医療広域連合議会

- ・2月21日定例会
- ・条例改正、25年度補正予算、26年度予算等の件

議会日誌 (主なもの)

(1月～3月)

1月

- ・町村長・町村議会議長新年互礼会
- ・身延町成人式
- ・身延町消防団出初式
- ・例月出納検査
- ・議員自主研修会
- ・町村議会新任議員研修会

2月

- ・千葉県鴨川市表敬訪問
- ・第1回臨時会
- ・例月出納検査
- ・全員協議会
- ・町村議会議長会議

3月

- ・3月定例会
- ・各地区最終区長会
- ・例月出納検査
- ・各小中学校卒業式
- ・町立保育所卒園式
- ・各組合議会定例会

(お詫びと訂正)

議会だよりNo.37の9ページ、写真の見出し中「北側」は「北川」の誤りです。お詫びを申し上げ、訂正をお願いいたします。

未来にはばたけ元気な子

静川保育所

保育所めぐり

切石区の中央に位置し、
床暖房の園舎に恵まれ熱心
な保護者に支えられて、14
人の子どもたちがのびのび
と活動しているのが静川保
育所です。

日当たりがよく、園庭に
出て遊ぶことの好きな子ど
もたちの笑顔から、将来の
限らない成長が約束されて
いると信じています。

春は親子遠足、夏はプー
ル遊び、秋は運動会やデイ
サービス訪問、冬はクリス
マス会を計画し、子どもた
ちも楽しみにしている行事
です。

また、英語教室やリトミ
ック教室、体育教室やサッ
カー教室も保育に取り入れ、
子どもたちも楽しく参加し
ています。さらに、交通教
室では、交通のきまりを覚
え「たった一つしかない命
の大切さ」を学んでいます。



メリークリスマス



秋の運動会、がんばりました！



お楽しみ給食



見て・ふれあって成長

子どもたちが楽しみにし
ているのが給食です。子ど
もたちの栄養を考えて毎日
の献立を作成しています。
「今日の給食何かな」、「給
食美味しかったよ」と子ど
もたちの声が聞こえてきま
す。最初は苦手だった野菜
も食べられるようになり、み
んなで食べる給食は、集団
生活の楽しい時間になって
います。

小さい子は大きい子を見
て、大きい子は小さい子の
面倒を見ながら成長してい
ます。私たち職員も共に仲
良く、協力し合いながら子
どもたちと接する中で、一
年間の成長を見る事ができ
嬉しく思っています。

保育所では、働く保護者
の手助けとなるよう、「0
歳児保育」「一時預かり」
「早朝・延長保育」「園庭
開放」などを行っています。
ぜひ遊びに来てください。